

ライフサポート：はた

「学習会やイベント等」のご報告 (皆さんの、ご参加をお待ちしています！)

N076 : 2024. 12. 18

四万十市中村大橋通 7 丁目 1-24

連合高知西地協 TEL:34-9191

発行責任者：事務局 伊達幸雄

色々な組織やクラブに参加している方も多いと思いますが、何か面白い話やイベントなどがあればお知らせ下さい。皆さんからの投稿をお待ちしています。

<10月2日(水) 10:00~11:00>

講演:「相続の話」

講師: 四国労金中村支店長 安岡 大 さん



○相続とは

- ・亡くなった方の遺産(借金も)を残された方が引き継ぐことで、生前に引き継ぐ場合は「生前贈与」がかかる。
- ・相続には、【プラスの遺産】としては、不動産、動産、現金、預貯金、有価証券、著作権など。
【マイナス財産】としては、借入金、未払い税金・家賃や事業関連の債務などがあるが、プラスの財産だけ相続することは出来ないので、相続財産全体を把握して判断する必要がある。

○相続できる人

- ・法定相続人…配偶者及び被相続人の子や父母、兄弟、姉妹、など血族に限り、相続できる割合についても細かく定められている。
- ・法定相続以外では、遺言書があり、①自筆証書②公正証書③秘密証書の3種類がある。
※遺産を法定相続人以外に残したい場合などは、自分の意思が反映できる「遺言書」が有効。
- ・ただし、遺言書があっても、配偶者や直系卑属・尊属については、遺留分として一定の割合で受けられることが法律で定められている。

○相続税

- ・相続人ごとに課税価格を算出し、課税遺産総額を算出したうえで、基礎控除額などを考慮し算定される。

○生前にできる相続税対策

相続税対策の優先順位は①分割対策、②納税対策、③節税対策です。早く始めるほど有効ですが、代表的なものは以下のとおりです。

- 1、生命保険の活用(分割対策、納税対策、節税対策)
- 2、一次相続と二次相続を考える(分割対策、節税対策)
- 3、財産そのものを減らす(分割対策、節税対策)

・住宅取得資金、教育資金、子育て資金などの一括贈与。・暦年課税の基礎控除の活用。

など、相続の仕方によって、支払う税金も変わってくるので、たくさん資産を持っている方は要注意。

＜8月7日(水) 10:00～11:00＞

講演:「能登半島地震の記録」

講師:こくみん共済coop中村支店長 久保 宏 さん



○調査入り

- ・1月1日に起こった能登半島地震への「こくみん共済」の対応報告。
- ・2月14日から21日まで富山県に調査に入った。富山から石川まで、片道3時間かけて調査を行った。
- ・意外と「自然災害補償」に入ってなかった。(この場合、見舞金なので少額)。「失善災害補償」に是非はいいしてほしい。

○日本高周波鋼業富山工場の取り組み例

- ・組合員に役員から連絡を取り、調査もスムーズにできた。
- ・組合員の安否確認も、組合の連絡網で行い、組合のありがたみを実感できた。
- ・スクラム共済

○令和6年能登半島地震のあらまし

- ・M7.6、最大震度7を観測。石川県・新潟県・富山県の3県では、家屋の倒壊、火災、津波、地盤隆起、液状化と甚大な被害を受けた。
- ・石川県では、299人死亡。新潟県・富山県を含めて、1,312人にのぼった。被災家屋は12.2万棟。発生時、石川県では約4万戸が停電、6.8万戸が断水し、1,422人が避難所生活を余儀なくされた。

○被災受付状況

- ・石川県、富山県、新潟県合計:21,355件・共済金142.3億円。
- ・迅速な調査に努めた。…7月30日時点で92.4%を達成した。
- ・火災共済のみの加入ではお見舞金が1万円だけ。
- ・自然災害共済加入者に大方の共済金が支払われた。

○義援金

- ・石川県1,000万円 富山県・新潟県へ500万円 合計2,000万円が贈られた。
- ・被災地応援プロジェクト…ボランティア団体・382万円 日本赤十字・700万円が贈られた。

○こくみん共済coopの対応

- ・1月3日…本部災害対策委員会開催
- ・1月10日…被災者対応の支援動員開始
- *1週間交代で、全国から39班(最大で78名)の職員を派遣し、調査活動を行いました。
- *会社の組合と協力して組合員の安否確認や被災状況の調査を行いました。

<11月29日(金) 15:00~16:00>

講演:「分身ロボット「OriHime」に出合って」

講師:オリィ研究所のパートスタッフ 別役 聡子 さん

【講師プロフィール】

香南市野市町出身で大学卒業後 NTT 武蔵野研究所で 27 年間勤務。

退職後 2017 年から実家の農業(1町2反の田、みかん畑)を始め、2018 年からオリィ研究所のパートスタッフになる。

2022 年高知香南市へ移住し、2023 年香南市キャンペーン大使「マーメイド 2023」にも就任。



内容: 分身ロボット OriHime はオリィ研究所の製品で、自動応対する AI ロボットではなく、離れたところから人が操作するロボット。オリィ研究所所長の吉藤オリィさんが自身の不登校の経験から「孤独」をなくすため外に出られる自分の「分身」を作るために開発された。分身ロボットは自分で見る方向を変えられたり、話しながらジェスチャーができるなど自発的操作で存在感のあるコミュニケーションができるのが特徴。

「寝たきりでも働ける」をコンセプトにオープンした東京日本橋にある分身ロボットカフェでは、約 100 名の移動が困難な人がパイロット(ロボットを操作する人のこと)として働いている。

パラリンピック銀メダリストの鬼谷慶子選手もパイロットとして働いている。

2021 年にはグッドデザイン賞大賞を受賞。

全国での活用事例としては、企業、自治体、学校やイベントなどで受付や接客業務で活用されており、G7 サミットや東京オリンピックでも活躍した。

高知県での活用例としては、高知県の「高知未来観光」、高知みらい科学館での展示、高知バリアフリーアドベンチャーツアーでの活用事例があるほか、ここ数年、分身ロボットカフェに修学旅行に行く高校もある。

コミュニティ活動として参加した「とさつ子タウン 2024」では神奈川県在住で肢体不自由な 2 人の小中学生が OriHime でリモート市民参加した様子が NHK で特集された。

また、分身ロボット OriHime でできる可能性を広げたいと考えており、目下「分身ロボット OriHime で甲子園でビールの売り子をしたい」と夢見る女の子をサポートしたいと思っているそうで、藤川監督とお知り合いの方はぜひ紹介して欲しいとのこと。



各行事報告

セラピーウォーク



11月10日(日)参加者 39名

数日前の心配が嘘のように好天に恵まれた日曜日。



今年のセラピーウォークに集まった参加者の顔も安堵の表情。一路天狗高原へと向かいます。

11時到着。バスから降りる際手渡された弁当を手に手に、林間を歩く「セラピーコース」と、カルスト台地からの眺望を楽しみながら歩く「遊歩道コース」の2班に分かれて出発です。私は、前回「セラピーコース」に参加したので、今回は「遊歩道コース」に参加。

一見歩きやすそうな遊歩道コースでしたが、いざ歩き始めると見かけ以上の勾配のきつさで、数百メートルで息が上がる始末。ひざや腰は今にも悲鳴をあげそう。



南は窪津（標識にはしっかりとその文字が刻まれている）から、北は石鎚の霊峰まで見渡せた眺望に励まされながらの散策となりました。



昼食の弁当はこれがお山で頂く弁当か？と見まがうくらいの豪華さで、こっそり自前で持参したビールで一人乾杯！！と、そこにこの遊歩道の急坂を自転車で登ってきた2名のチャリダーに遭遇。テレビでは何度か見たことはあるけど、実際お目にかかったのは初めて。急坂を見ると自転車で登りたくなるという「坂バカ（尊敬と畏敬の念を込めて）」達はひと呼吸して頂上へとペタル

を踏みこんでいました。

午前中は暑さを感じるほどの天気でしたが、散策が終わってバスに集まるころから雲が厚くなり、中村につく頃にはバスも間欠ワイパーを動かしていました。



私（岡村）の70代最後の誕生日と重なった今日のセラピーウォーク、好天に恵まれたこともあって、私のメモリアルサンデーの1日となりました。

予約を取り忘れていた私に参加を譲ってくれた宮本さんに感謝。

そして、今日の準備をしてくれた役員の皆さんありがとうございました。

（岡村誠喜）



釣り大会 12月14日(土) 参加者 11名



釣り大会も、今回で9回目となりましたが、当初予定していた11月実施が雨のため中止となり、12月に行うこととなりました。

さすがに12月ともなると寒く、特に当日は朝の内は時雨となり、大変寒い一日となりました。幡多ライフで薄着 NO1のT・Iさんも、さすがに「寒い々」と言っていました。皆さん寒さに耐えながら頑張っていました。

闘争心ゼロの戦いの結果は、以下のとおりです。

太 い で 賞	曾根
大 漁 賞	幾久
こんまいで賞	伊達
珍 魚 賞	松岡
めでたいで賞	山岡
特 別 賞	安岡
頑 張 っ た で 賞	今倉

敬称、2位以下省略



いつの間にか、完全防寒姿になっていました。



この方、3 回目の大物賞です。👍



皆さんに賞品あります。参加してね！



チャリティゴルフ大会



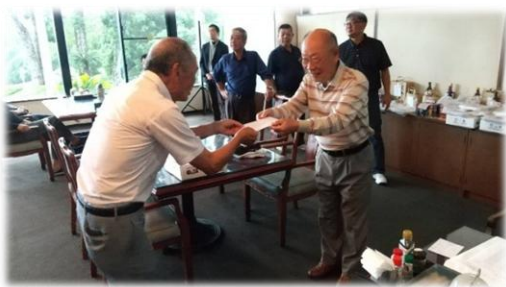
10月21日(月)「土佐ユートピア CC」
(参加者96名)

第20回の節目となる「幡多ライフチャリティー
ゴルフコンペ」が、「土佐ユートピアCC」に於いて
盛大に開催されました。

前日までの集計では、102名の申し込みが
ありましたが、当日のキャンセル等もあり結果的

には96名でのスタートとなりました。やはりゴルフ仲間も高齢化し、体調不良や親しい人の
不幸などが多くなったように感じます。

プレーでは、当然プロ選手のようにはいきませんが、皆さん元気に18ホールを歩き通し、
さわやかな汗を流しました。



表彰式では、皆さんに景品が渡され、全員怪
我もなく無事終了することが出来ました。

なお、協賛いただきました、「連合高知西地
協・こくみん共済coop・ろうきん中村支店・中
村クリニック・幡多地区労福協」様に感謝申し
上げます。(大会責任者:今倉伝男)



譲りたいもの・欲しい物コーナー

あなたやお知り合いの方で、捨てるのはもったいない物、逆に誰か譲ってくれ
る方はいないかな～という時はご一報下さい。(有償・無償、匿名＝自由)

※〈事務局で物品の保管は出来ませんのでご了承ください〉

連絡先：連合高知西地域協議会 事務局

TEL 0880-34-9191 FAX 0880-34-9192

E-mail : nishi-chikyo@kochi.jtuc-rengo.jp

(提供物品情報)(希望物品情報)は、ありません。



来年もよろしく
お願いします。